



## 貸金訴訟の実務 (五訂版)

編集／小川英明 (元東京高等裁判所判事)

A5判 1,108頁

2008年1月発刊

貸金業法の改正に対応した最新版!

### 概要

★金銭貸借をめぐる訴訟を、各類型ごとに分類。それぞれの問題点について、実務的な観点から、整理・検討・詳細解説。

〈最新内容〉

- 貸金業の適性化、過剰貸付の抑制、金利体系の適正化などを柱とする貸金業法の改正に対応!
- 金銭貸借に係る最新の判例を収載!

記述は判例通説を基本とし、論説の根拠となった法の条文、判例(判決年月日、出典明示)、学説、評釈などを明らかにしながら問題を詳解しており、理論と実務の両面を兼ね備えています。

### 目次

#### 第1編 総論

##### 第1章 判例を中心とした金銭消費貸借・準消費貸借の諸問題

###### 第1節 序説

###### 第2節 金銭消費貸借に関するもの

- 第1 消費貸借の要物性に関する問題点
- 第2 消費貸借契約か否かに関する問題点
- 第3 地方公共団体が借主となる場合の問題点
- 第4 法人の権利能力等による制限に関する問題点
- 第5 法人と役員個人の取引に関する問題点
- 第6 消費貸借の公序良俗違反性に関する問題点
- 第7 借受金債務の保証に関する問題点
- 第8 貸金債権の消滅に関する問題点
- 第9 借受金債務の弁済と借主が貸主に交付した手形小切手の返還に関する問題点

###### 第3節 準消費貸借

- 第1 旧債務の資格に関する問題点
- 第2 新旧両債務の同一性に関する問題点

##### 第2章 利息・遅延損害金の諸問題

###### 第1節 利息

- 第1 利息の意義
- 第2 利息の発生要件
- 第3 利息の発生日と終了日
- 第4 利息の弁済期
- 第5 利息の利率

###### 第2節 遅延損害金

- 第1 遅延損害金の意義
- 第2 遅延損害金の発生要件
- 第3 遅延損害金の発生日と終了日
- 第4 遅延損害金の弁済期
- 第5 遅延損害金の利率

###### 第3節 利息・遅延損害金に対する金利規制

- 第1 金利規制の必要性
- 第2 利息制限法

###### 第3節 利息・遅延損害金に対する金利規制

- 第1 金利規制の必要性
- 第2 利息制限法
- 第3 貸金業法
- 第4 出資法
- 第4節 弁済充当と端数計算
- 第1 総説
- 第2 弁済充当
- 第3 端数計算

##### 第3章 貸金債権の回収と各種の担保

###### 第1節 概説

- 第1 担保の必要性
- 第2 担保の概要

###### 第2節 物的担保

- 第1 抵当権
- 第2 仮登記担保
- 第3 譲渡担保

###### 第3節 人的担保(保証)

- 第1 概説
- 第2 問題点

###### 第4節 その他の担保

- 第1 債権譲渡
- 第2 代理受領
- 第3 相殺

###### 第5節 回収を容易にするもの——手形・公正証書

- 第1 約束手形
- 第2 公正証書

##### 第4章 貸金訴訟の要件事実と主張立証責任

###### 第1節 総論

- 第1 要件事実と主張立証責任分配の機能
- 第2 貸金訴訟に特有な23の問題点

###### 第2節 貸金訴訟の諸類型

- 第1 貸主側からの訴訟
- 第2 借主側からの訴訟等

## 目次のつづき

## 第2編 各論

## 第1章 貸金返還請求訴訟

## 序

## 第1節 消費貸借に基づく請求

## 第1 請求の特定

## 第2 攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第2節 利息・損害金の請求

## 第1 請求の特定

## 第2 攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第3節 準消費貸借に基づく請求

## 第1 請求の特定

## 第2 攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第2章 保証債務請求訴訟

## はじめに

## 第1節 保証債務請求訴訟

## 第1 保証債務の意義

## 第2 保証債務の成立と範囲

## 第3 請求原因と攻撃方法

## 第4 防禦方法

## 第2節 連帯保証債務請求訴訟

## 第1 連帯保証

## 第2 請求原因と攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第3節 根保証債務請求訴訟

## 第1 根保証

## 第2 請求原因と攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第4節 求償金請求訴訟

## 第1 保証人の求償権

## 第2 請求原因と攻撃方法

## 第3 防禦方法

## 第3章 債権者代位訴訟

## 第1節 総説

## 第1 序説

## 第2 債権者代位権制度の意義

## 第2節 債権者代位訴訟の要件事実と問題点

## 第1 要件事実

## 第2 要件事実に関する諸説と周辺の諸問題

## 第3節 債権者代位権の客体

## 第4節 債権者代位権の行使

## 第1 代位権行使の方法

## 第2 代位権行使の範囲

## 第3 第三債務者（相手方）の地位

第4 債権者代位訴訟提起後になされた国税債権  
取立訴訟前訴の適否

## 第5節 債権者代位権行使の効果

## 第1 債務者の処分権の喪失

## 第2 効果の帰属

## 第3 判決の効力

## 第6節 取立訴訟

## 第1 序説

## 第2 取立権

## 第3 取立訴訟

## 第4章 詐害行為取消訴訟

## 第1節 詐害行為取消権の意義と性質

## 第1 詐害行為取消権の意義

## 第2 詐害行為取消権の性質

## 第2節 詐害行為成立の要件（請求原因）

## 第1 詐害行為の存在（客観的要件）

## 第2 主観的要件

## 第4章 詐害行為取消訴訟

## 第1節 詐害行為取消権の意義と性質

## 第1 詐害行為取消権の意義

## 第2 詐害行為取消権の性質

## 第2節 詐害行為成立の要件（請求原因）

## 第1 詐害行為の存在（客観的要件）

## 第2 主観的要件

## 第3節 詐害行為取消権の行使

## 第1 取消権の行使方法

## 第2 詐害行為取消の範囲及び内容

## 第4節 取消権行使の効果

## 第1 概要

## 第2 取消の相対効

## 第5節 取消権の消滅

## 第1 債務者の資力回復

## 第2 詐害行為取消権の消滅時効

## 第3 債権の消滅時効

## 第6節 主張立証責任

## 第1 総説

## 第2 取消債権者が債務者に対し有する債権の発生原因たる事実

## 第3 債務者が財産権を目的とする法律行為をしたこと

## 第4 債務者の法律行為が債権者を害するものであること

## 第5 債務者の悪意

## 第6 詐害行為取消権の消滅時効

## 第7 債権の消滅時効

## 第7節 訴状・答弁書の様式

## 第1 概説

## 第2 訴状・答弁書の例

## 第8節 国税債権に基づく詐害行為の取消し

## 第1 詐害行為取消の要件

## 第2 取消権の行使

## 第9節 詐害行為に関する他の法律規定

## 第1 会社法 832 条の債権者による設立取消しの訴え

## 第2 会社法 863 条による取消し

## 第3 信託法 11 条（詐害信託の取消し）

## 第4 民事再生、破産、通謀虚偽表示との関係

## 第5 国税徴収法 187 条（罰則）

## 第5章 債務又は担保権の存在を争う訴訟

## 第1節 金銭債務の不存在確認訴訟

## 第1 はじめに

## 第2 確認の利益

## 第3 審理対象の特定及びその方法

## 第4 攻撃・防御方法

## 第5 主文と判決の既判力

## 第6 訴状記載例

## 第2節 抵当権設定登記の抹消登記請求

## 第1 はじめに

## 第2 抵当権設定登記の抹消登記請求権

## 第3 抹消登記訴訟の訴訟物及び右判決の既判力

## 第4 抵当権の無効・消滅等に関する若干の問題

## 第5 主張・立証責任

## 第6 訴状記載例

## 第6章 不当利得返還請求訴訟

## はじめに

## 第1節 利息制限法と不当利得

## 第1 不当利得返還請求権

## 第2 利息制限法の判例

## 第3 不当利得の構成に関する学説

## 第2節 請求原因と攻撃方法

## 第1 攻撃方法

## 第3節 防禦方法

## 第1 非債弁済

## 第2 消滅時効

## 第3 契約締結費用、弁済費用

## 第4 貸金業法

目次のつづき

第7章 貸金訴訟に関連した民事保全手続

第1節 概説

- 第1 仮差押え・仮処分の意義・特質
- 第2 貸金訴訟における仮差押え・仮処分の役割  
本案訴訟との対応
- 第3 本章の対象、構成

第2節 仮差押え

- 第1 総説
- 第2 各説

第3節 貸金訴訟に関連した仮処分

- 第1 処分禁止仮処分
- 第2 担保物等の価値保全のための仮処分  
(価値減少行為禁止仮処分)
- 第3 競売手続停止(抵当権実行禁止)仮処分
- 第4 違法取立禁止仮処分
- 第5 仮登記仮処分

第8章 少額訴訟手続

- 第1 はじめに
- 第2 少額訴訟手続の要件
- 第3 少額訴訟手続の審理
- 第4 少額訴訟手続の終了
- 第5 不服申立手続
- 第6 少額訴訟債権執行手続

第9章 督促・執行・担保権実行

第1節 督促手続

- 第1 はじめに
- 第2 督促手続の概要
- 第3 申立ての要件
- 第4 手続費用
- 第5 支払督促の申立て
- 第6 審理及び処分
- 第7 仮執行の宣言
- 第8 督促事件の終了
- 第9 支払督促に対する督促異議の申立てと  
その後の手続

第2節 強制執行

- 第1 はじめに
- 第2 総説
- 第3 不動産の強制競売
- 第4 動産に対する強制執行
- 第5 金銭債権に対する強制執行
- 第6 配当要求
- 第7 配当・配当異議
- 第8 少額訴訟債権執行
- 第9 財産開示の手続

第3節 担保権の実行

- 第1 はじめに
- 第2 担保権の実行としての不動産競売
- 第3 仮登記担保権の実行

第10章 執行関係訴訟

第1節 総説

- 第2節 請求異議の訴え
- 第1 概説
- 第2 要件
- 第3 訴訟手続
- 第4 強制執行の停止・取消し
- 第5 請求異議の訴えと執行文に関する訴えとの関係

第3節 第三者異議の訴え

- 第1 意義
- 第2 訴えの性質
- 第3 要件

第4節 執行抗告と執行異議

- 第1 執行抗告

第5節 執行異議

附 録

索 引